



# 平成30年7月豪雨災害から1年

## — 復旧・復興に向けたあゆみ —



真谷川(倉敷市真備町服部) 2019年6月5日撮影  
※元の高さまで復旧完了。引き続き、堤防のかさ上げや強化などを実施。



真谷川(決壊直後)



真谷川(復旧途中)

### 県民の皆さまへ

県内各地に甚大な被害をもたらした昨年の豪雨災害から1年がたちました。改めて、お亡くなりになられた方々に哀悼の意をささげるとともに、ご遺族の皆さまにお悔やみを申し上げます。また、被災された皆さまに心からお見舞いを申し上げます。

さて、県では、これまで、被災された方の生活の再建や公共施設の復旧、地域経済の再生などに最優先に取り組んできました。こうした中、河川堤防の決壊箇所の原形復旧が終了し、また、住宅を再建する方も少しずつ増えています。しかし、被災地には、今なお深い爪痕が残り、被災された方の生活の再建や被災地域の経済の復興には、まだ多くの時間が必要です。

このたびの災害の検証結果を踏まえた自助、共助、公助にわたる取り組みを一層推進し、県民の皆さまと手を携え、国や市町村、関係団体などと緊密に連携しながら、復旧・復興に向けた各種施策を着実に進めて、より災害に強く、元気な岡山の実現に向け、全力で取り組んでまいります。



岡山県知事 伊原木 隆太

### 平成30年7月豪雨災害の県内の被害状況

項目	被害状況	
人的被害 (2019年 6月4日現在 ※うち死亡者は 2019年 6月28日現在)	死亡者	79人
	(うち災害関連死)	(18人)
	行方不明者	3人
	重傷	16人
	軽傷	161人
住家被害 (2019年 6月4日現在)	全壊	4,830棟
	半壊	3,364棟
	一部損壊	1,126棟
	床上浸水	1,540棟
	床下浸水	5,507棟
農林被害 (2018年 11月15日現在)	農作物・農業施設・農業用機械	65.2億円
	農地・農業用施設	151.4億円
	治山・林道関係	40.6億円
	その他農林被害	9.3億円
	計	266.5億円
土木施設被害 (2019年 2月1日現在)	道路関係	144.0億円
	河川関係	150.1億円
	砂防関係	22.2億円
	港湾・下水道等	29.3億円
	計	345.5億円



# 一日も早い復旧・復興に向け

## 1 生活とくらしの再建

### ▶ 住まいの確保

被災された皆さまの生活再建に向けて、仮設住宅を提供しています。

#### 応急仮設住宅の入居状況 (2019年5月31日現在)

- 建設型仮設住宅…入居戸数/268戸、入居者数/629人
- 借上型仮設住宅…入居戸数/2,644戸、入居者数/6,943人



建設型仮設住宅(木造)

### ▶ こころのケア

被災された方や支援をしている方の心の支援を行うため、「おかやまこころのケア相談室」を開設。また、子どもたちが安心して生活し、学ぶことができるよう、「スクールカウンセラー」などを派遣しています。

#### スクールカウンセラーの派遣回数 (2019年5月31日現在)

- 小学校…19校/312回
- 中学校…8校/95回
- 高等学校…10校/70回
- 特別支援学校…1校/15回



おかやまこころのケア相談室

### ▶ 災害廃棄物の処理

発災後2年間での処理完了に向け、新たに整備した中間処理施設において、倉敷市および総社市から事務受託した災害廃棄物の処理を進めています。また、被災市町村への技術的支援を行っています。

#### 災害廃棄物発生量推計

- 岡山県全体…約30万トン

#### 受託処理する廃棄物の量

- 倉敷市…20.7万トン
- 総社市…1.1万トン



中間処理施設での処理状況 (一次選別処理施設)



中間処理施設での処理状況 (手選別処理)

#### Interview

ささいなことでも構いません  
胸の内を話してください

おかやまこころのケア相談室

河田 沙希さん、石田 洋子さん、和田 智子さん



電話相談や訪問相談などを通して、被災された方の心の支援を行っています。じっくり話を聞き、思いに寄り添い、必要であれば医療機関などへの紹介をします。発災当時は、気分の落ち込みや不眠、自責感などを訴える方が多くいらっしゃいました。一方で、「周囲にはもっと大変な人がいるから…」と話すことを我慢し、苦しみを胸に抱えたままにしている方も多いようでした。1年がたとうとする今、相談内容も変化しつつあります。一般的な傾向として、生活の再建に困難を感じられている方は、無力感にさいなまれやすくなります。また1年という節目の時はつらい記憶もよみがえりやすく、心が不安定になりがちです。そうした心の揺れは誰にでも起こり得る、自然かつ正常な反応。誰かに話すことは心の整理を促しますから、気軽にご利用ください。

#### Interview

被災地域の中で、  
保護者と共に歩みたい

NPO法人ベアレント・サポート すてっぷ 理事長

安藤 希代子さん



私たちは、障害のある子どもの保護者を支援する団体です。同じ立場にあるメンバーでカフェや茶話会などを開催し、交流と相談の場を作っています。昨年8月、被災地域の保護者を支えるために、県や倉敷市と共に、玉島で「親子カフェ&相談会」を4回開催しました。その時に来てくださった皆さんの疲弊しきった姿は、今も目に焼き付いています。それでもコーヒーを飲みながらマッサージなどを受けてもらううちに「被災後初めてくつろげた」というお声を聞くことができました。玉島が終了したあと「これで終わってはいけない」と思い、昨年10月からは私たち独自に月2回、真備町でカフェを開いています。嬉しいことに徐々に被災地の内外から、参加者が増えてきました。被災された方の孤立を防ぐ上でも、災害の記憶を風化させないことは大切。皆さまも折に触れて被災地を訪れてください。

## 2 公共施設などの復旧

### ▶ 河川・道路の復旧

河川の被災箇所や、道路の通行止め箇所などについて、早期復旧に向けた工事を進めています。堤防が決壊した小田川3支川や砂川などについては、再び同じような災害が発生しないよう、堤防のかさ上げや河道掘削などの改良復旧に取り組めます。

#### 河川の復旧

- 被災箇所…801カ所 (災害査定決定箇所)
- 復旧工事着手…436カ所 (54.4%)
- 工事完了…135カ所 (16.9%) (2019年5月31日現在)



砂川の復旧状況

#### 砂防施設の復旧

- 被災箇所…257カ所 (災害査定決定箇所)
- 復旧工事着手…88カ所 (34.2%)
- 工事完了…31カ所 (12.1%) (2019年5月31日現在)



県道宇土谷高梁線(高梁市玉川町玉)

#### 道路の復旧

- 被災箇所…301カ所 (災害査定決定箇所)
- 復旧工事着手…237カ所 (78.7%)
- 工事完了…92カ所 (30.6%) (2019年5月31日現在)

### ▶ 農地・農業用施設などの復旧

農林漁業者の皆さまの一日も早い経営再開が可能となるよう、農地・農業用施設(水路、農道、ため池など)や治山・林道施設、農業用共同利用施設などの早期復旧を進めています。



発災直後



復旧完了

土砂で埋没した水路の復旧状況

### ▶ 医療施設などの復旧支援

被災地の皆さまが地域で安心して医療・福祉サービスを受けられるよう、被災した医療施設や社会福祉施設などの早期復旧に向けて支援を行っています。



発災直後



復旧完了

医療機関の復旧状況

### ▶ 学校教育活動の再開と学校施設などの復旧

被災地域の市町村立学校の教育活動再開のため、県立学校施設の貸与などを行いました。さらに子どもたちが安心して学校に通い学べるよう、近隣校やプレハブ校舎の利用の早期解消に向けて、学校施設の復旧を計画的に進めています。



発災直後



復旧完了

矢掛町立中川小学校の復旧状況



県立玉島高校施設を倉敷市立箭田小学校に貸与



県では、平成30年8月30日に復旧・復興推進本部を設置し、「平成30年7月豪雨災害からの復旧・復興ロードマップ」を策定しました。これまで総額1,261億円の予算を編成するとともに、国の支援策も活用しながら、ロードマップに掲げた取り組みを推進しています。

### 3 地域経済の再生

#### ▶ 中小企業への支援

中小企業者などの皆さまが不安なく事業再開に取り組みやすいよう、グループ補助金の交付手続きを迅速に進めるとともに、経営相談や専門家の派遣、資金の融資などの支援を行っています。



岡山県グループ補助金受付センター



真備船穂商工会 特別相談窓口

#### ■ グループ補助金の決定状況など

(2019年5月31日現在)

復興事業計画認定件数	補助金交付決定	補助金額の確定
● 36件 (713事業者)	● 210事業者 / 44億1,131万円	● 56事業者 / 1億9,023万円

#### ▶ 営農の再開支援

被災した農業用機械やハウスなどの農業施設の改修・更新に対する支援のほか、種子・種苗の確保や土砂が流入した農地の土壌診断、経営・技術指導、制度資金の案内などを行っています。



倒壊した農業用ハウスの復旧状況

#### ▶ 観光産業の早期回復と情報発信、復興気運の醸成

宿泊クーポンや「ふっこう周遊割」の活用、「晴れの国は、映えの国でした。」をキャッチコピーとして、本県のまだ知られていない多彩な魅力を発信する「岡山県魅力発信プロジェクト」の展開などにより、観光客は回復傾向にあります。各種広報媒体を活用した情報発信を継続して行い、観光誘客と復興気運の盛り上げに取り組んでいます。



岡山県魅力発信プロジェクトPRイベント



岡山県復興メッセージ動画

### 4 豪雨災害の検証と今後の対応

#### ▶ 豪雨災害の検証

検証委員会において、県のこれまでの対策を検証し、被災地の住民意識調査の結果も踏まえながら、今後実施すべき取り組みを提言として取りまとめました。



検証委員会からの報告書の提出(2019年3月20日)

#### 提言 1 県災害対策本部の機能充実

- 戦略的な災害対応を実施するための体制強化
- 災害対応に向けた部局ごとの行動計画などの明確化

#### 提言 2 市町村との連携強化

- 災害発生前からの市町村へのリエゾン(情報連絡員)派遣
- 災害時における県と市町村とのリアルタイム情報共有体制の構築
- 市町村が行う避難情報の発令への支援

#### 提言 3 河川管理などの取り組み強化

- 水位計や監視カメラの充実
- ダム事前放流の効果的な運用のための関係機関の連携
- 河川堤防の被災原因を踏まえた今後の河川整備などの在り方

※平成30年7月豪雨災害検証報告書の提言より抜粋



Web会議システムを活用し、リアルタイムで情報共有(水害特別防災訓練)

#### 提言 4 自助・共助の取り組み促進

- 統一した作成基準によるハザードマップの策定と活用
- 住民の避難行動につなげるための地域の災害リスクなどの普及啓発
- 高齢者や障害のある方など要支援者の避難を支援するための共助の取り組み
- 豪雨災害の教訓を生かした南海トラフ地震などへの備え

#### ▶ 地域防災力強化のために

##### 地区防災計画や個別避難計画作成に向けた市町村の取り組み支援

河川氾濫や津波などで浸水が想定される区域など県内3カ所をモデル地区とし、住民による地区防災計画などの作成を支援するとともに、県および県内全市町村で構成する協議会を設置し、モデル地区による計画作成の過程やノウハウなどを共有することで、地区防災計画などの作成を全県に広げていきます。



避難所の運営方法などについて協議するモデル地区の住民

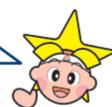
##### 地域防災リーダー育成研修の充実

自主防災活動の事例発表や、地域での活動をより効果的に行うための実践的なワークショップの実施など、近隣地域のリーダーが交流しながら、相互に活動を学び合うことができる研修会を開催し、地域の防災リーダーの育成に取り組んでいます。



地域の災害リスクを確認する研修参加者

地域の防災力を強化し、災害に強い岡山県の実現を目指します!





## 住宅の支援

### ●住宅再建モデルプラン

平成30年7月豪雨により被災された方の住宅再建のため、低コストで建設可能な住宅再建モデルプランを岡山県建築士会の協力を得て、作成しています。詳しくは、岡山県建築士会のHPをご参照ください。

☎ 086-223-6671 岡山県建築士会



## 生活の支援

### ●被災者生活再建支援金

平成30年7月豪雨により、住宅が全壊・大規模半壊した場合や、半壊または敷地に被害が生じ、その住宅をやむなく解体した場合は、被災者生活再建支援金の申請ができます。住宅の被害程度に応じて基礎支援金が50万～100万円、住宅の再建方法に応じて加算支援金が50万～200万円支給されます(世帯人数が1人の場合は3/4の金額)。

- 【申請期間】
- 基礎支援金…2019年8月4日(日)まで(岡山市・倉敷市・総社市は、2020年8月4日(火)まで)
- 加算支援金…2021年8月4日(水)まで

※被災時に居住していた市町村の窓口申請してください。※基礎支援金は住宅の再建方法が決まっていなくても申請できます。※基礎支援金は被災時に借家やアパートなどの賃貸住宅に居住していた場合も対象になります。

☎ 086-226-7876 被災者生活支援室

### ●子ども災害見舞金

平成30年7月豪雨以降、県内で暴風、豪雨、洪水などの自然災害により被災された子どものいる家庭に対し、子どものための災害見舞金を支給します。詳しくは県のHPをご参照ください。

- 【支給対象となる被害の程度】
- 自己の生活の本拠として住んでいる建物が全壊、大規模半壊、半壊、床上浸水のいずれかの被害を受けた場合
- 【支給金額】
- 子ども一人当たり2万円



☎ 086-226-7874 子ども家庭課

### ●税金の減免

平成30年7月豪雨により大きな被害を受けた方に対し、不動産取得税を軽減する制度を設けています。

減免の要件	減免の額
取得してから1年以内の不動産が滅失等した場合	り災証明書などにより認定した家屋の被害の程度に応じ、20～100%相当分を減免
滅失等した日から3年以内に代替不動産を取得した場合	

☎ 086-233-9810 備前県民局税務部  
086-434-7012 備中県民局税務部  
0868-23-1267 美作県民局税務部

### ●使用料・手数料の減免

減免対象となる使用料・手数料	問い合わせ先
・納税証明書交付手数料	086-226-7243 税務課
・開発行為許可申請手数料 ・開発行為変更許可申請手数料 ・予定建築物等以外の建築等許可申請手数料 ・開発許可を受けない市街化調整区域内の土地における建築等許可申請手数料 ・開発登録簿の写しの交付申請手数料 ・建築基準法関係の申請手数料(確認申請、検査申請等) ・宅地造成許可申請手数料 ・開発行為(建築等)に関する証明手数料	086-226-7503 建築指導課
・授業料(県立高等学校及び県立中等教育学校の後期課程)	086-226-7572 教育庁財務課

## こころのケア

### ●おかやまこころのケア相談室

被災された方や、支援をしている方の中長期的な心の支援を目的に「おかやまこころのケア相談室」を開設しています。災害により「こころ」と「からだ」の不調が続く、苦痛を感じたり、日常生活がうまく送れないような場合はご相談ください。

☎ 086-201-0850 月～金9:00～16:00(土・日・祝日を除く)  
おかやまこころのケア相談室(岡山県精神保健福祉センター内)

## 中小企業の皆さまへ

### ●中小企業相談窓口

岡山県中小企業支援センター 中小企業相談窓口  
経営、金融、下請け取引など経営全般の相談に応じています。また、他の支援機関や金融機関、信用保証協会などと連携し、適切な支援策をご紹介します。

☎ 086-286-9626 岡山県中小企業支援センター(岡山県産業振興財団内)

### 真備船穂商工会 特別相談窓口

特別経営相談員による特別相談窓口を設置。施設・設備の復旧、経営、雇用など被災事業者の相談に、来所や電話で対応しています。

☎ 086-698-0265 真備船穂商工会本部

### ●被災中小企業者への専門家派遣

被災された中小企業者が抱える課題に応じ、専門家(中小企業診断士、税理士、社会保険労務士など)を、原則無料で派遣します。

☎ 086-286-9626 岡山県中小企業支援センター(岡山県産業振興財団内)

### ●グループ補助金

被災された中小企業者などのグループが「復興事業計画」を策定し、県の認定を受けた場合に、そのグループの構成員が行う被災施設・設備などの復旧費用の一部を補助します。

- 上限額……1事業者当たり15億円
- 補助率……中小企業者3/4、中堅企業など1/2
- 【申請期間】
- 新規グループの認定申請…2019年8月末 ※変更申請は2019年9月末
- 補助金の交付申請………2019年11月末

☎ 086-224-8564 岡山県グループ補助金受付センター

### ●危機対策資金

平成30年7月豪雨により影響を受けた中小企業者向け融資として、危機対策資金が利用できます。

- 【融資対象者】
- ①市町村長から中小企業信用保険法第2条第5項第4号(セーフティネット保証4号)の認定を受けた中小企業者
- ②今回の災害に係るり災証明を受けた中小企業者
- 【資金の用途】
- ①経営の維持及び安定に必要な資金
- ②災害の復旧のために必要な資金
- 【融資限度額】8,000万円
- 【融資利率】年1.15%以内
- 【保証料】無料

☎ 086-226-7361 経営支援課

## 農林漁業者の皆さまへ

### ●農林水産業に係る融資などの相談窓口

被災された農林漁業者のために、融資に関する相談窓口を設置していますので、制度資金などについてのご質問があればお問い合わせください。

☎ 086-226-7418 組合指導課

TOPICS

## 風水害に備えよう

### 台風情報などの防災情報が発表されてから避難するまでの流れ

#### 1 危険箇所や避難場所の確認

ハザードマップで家の近くの危険箇所や避難場所、避難場所までの道順などを調べておきましょう。ハザードマップはお住まいの市町村にお問い合わせいただくか、「岡山県防災マップ」から確認できます。平成30年7月豪雨で被害を受けた倉敷市真備地区では、想定されていた浸水範囲と実際に浸水した範囲がほぼ一致し、ハザードマップの重要性が再認識されました。



岡山県防災マップ



#### 2 住まいへの備え

台風・風水害に備えて、早めに住まいやその周辺の整備・点検をしましょう。



#### 3 最新情報を随時確認

テレビ、ラジオ、防災行政無線、インターネットなどで常に最新情報を確認しましょう。また、「おかやま防災情報メール」では警報・注意報など、防災に役立つ情報をメールで配信します。



おかやま防災ポータル | 検索 | おかやま防災情報メール | 検索

#### 4 非常持出品の用意

停電・断水や避難に備えて非常持出品の用意をしておきましょう。



#### 非常持出品チェックリスト【一例】

- 非常食
- ペットボトルの水
- 通帳・免許証・健康保険証・診察券・お薬手帳・証書類など
- 印鑑(通帳とは別々に保管)
- 現金(小銭も含めて)
- 家・車の合鍵
- 筆記用具(油性ペン・ノート)
- 懐中電灯・電池
- スマートフォンの充電器・予備バッテリー
- FM・AMラジオ
- マスク
- 眼鏡・コンタクトレンズ
- 洗面用具
- ウェットティッシュ
- 医薬品(常備薬・消毒液・ばんそうこうなど)
- 使い捨てカイロ
- 防寒保温シート
- ヘルメット・防災ずきん・ホイッスル
- 防寒着・雨カッパ
- 軍手・手袋
- アイマスク・耳栓
- など

#### 5 警戒レベル3、4で迅速に避難を

警戒レベル3が発令されたら、避難に時間がかかる人は避難。警戒レベル4では、速やかに全員避難してください。地域の皆さんで声をかけあって安全・確実に避難しましょう。



#### 警戒レベルと住民がとるべき行動の関係

警戒レベル	住民がとるべき行動	行動を促す情報
5	命を守る最善の行動	災害の発生情報
4	全員避難	避難指示(緊急) 避難勧告
3	高齢者などは避難 他の住民は避難準備	避難準備・高齢者等避難開始
2	避難行動の確認	注意報
1	心構えを高める	警報級の可能性*

\*5日先までに警報級の現象が予想されているとき、その可能性を「高」[中]の2段階で発表する情報